

到、縱有拔簪之懷、朝恩未酬、難從懸車之軌者也、夫以諱老稱六十九者、仕後魏而吏南蠻、遇主言一二三者酌下、若而得上、壽至彼五音四聲之相配、萬歲一日之無疆、宮商有調、久視之術何違、土俗異風、延齡之道各別者也、況復逢李耳、今見真形、心地自如、日月之明、變桃顏、今歌妙曲、年紀既非、雲霧之暗、我后名軼稽古、化施當今、同降誕於壽丘、富春秋而天長地久、求登用於媯水、感山澤而就日望月、四目之爲師、巢閣之風儀、庭五老之入、昂負圖之龍出、浪遂使禎祥不休、能叶帝德之美、符應有信、自固皇歎之、基遐方歸仁、吹羌笛於塞上之月、遠成忘警、埋夜柝於關外也、塵謹對、

〔徒然草〕下、年老たる人も、一事にすぐれたる才の有て、この人ののちには誰にかとはんなどいはる、は、老のかたうどにて、いけるもいたづらならず、さはあれど、それもすたれたる所のなきは、一生此事にてくれにけりとつたなく見ゆ、今はわすれにけりといひて有なん、大方はしりたりとも、すゝろにいひちらすは、さばかりの才にはあらぬにや、ときこえをのづからあやまつも有ぬべし、さだかにもわきまへしらすなどいひたるは、猶まことに、みちのあるじともおぼえぬべし、ましてしらの事したりがほに、おとなしく、もどきぬべくもあらぬ人のいひきかするを、さもあらずと思ひながら、きゝるたるいとわびし、

〔隨意錄〕八、七十爲古稀也、久矣、矧八十以上、古亦尤稀也、可知矣、宋袁文者云、自秦漢以來、一百三十六帝、惟梁武帝得八十三歲、本朝高宗、聖算八十一、若梁武帝、壽數雖高、遭侯景之亂、狼狽而死、又何足貴耶、惟高宗五福兼全、獨過八旬、秦漢以來、一人而已、評八卷今因是以謂之三代以上、則措而不須言焉、戰國以降、至我東方、文士武夫、揚名於後世者、不知幾千萬人、然史籍之所記、至八十以上、而其聲聞不損、以壽終者、則不過乎屈指、然則虎也、今歲八十三、幸耳目猶全、日在學職、而勉強焉者、亦可謂天寵矣哉、

〔令義解〕二、凡年八十及篤疾給侍一人、謂其給侍者不限貴賤皆普給之若篤疾之人年亦八十者猶給一人不可累給其九十百歲亦准此例也、九十、二人、

老者優遇